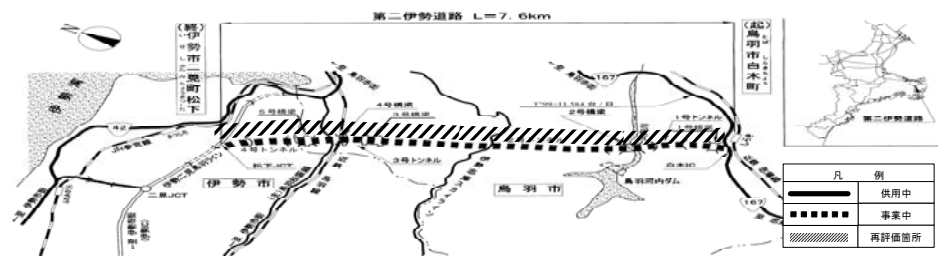


再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道167号第二伊勢道路	事業区分 一般国道	事業主体 三重県	
起終点 自：三重県鳥羽市白木町 至：三重県伊勢市二見町松下	延長 7.6km		
事業概要 一般国道167号は、三重県志摩市を起点として三重県伊勢市に至る延長約27kmの幹線道路です。第二伊勢道路は、地域高規格道路「伊勢志摩連絡道路」の一部区間（鳥羽市白木の国道167号から伊勢市松下の伊勢二見鳥羽ラインまでの延長7.6km）であり、伊勢地域と志摩地域を結ぶ道路の渋滞解消と地域間の連携強化を目的とした事業です。また、計画車線数は4車線ですが、事業効果の早期発現のため暫定2車線で整備を進めています。			
H8年度事業化	H9年度都市計画決定 (H9年度変更)	H10年度用地着手	H11年度工事着手
全体事業費 297億円		事業進捗率 73%	供用済延長 0km
計画交通量 13,800台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 20.0	総費用 (残事業)/ (事業全体) 39 / 328億円 (事業費：36 / 326億円) (維持管理費：3 / 3億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 780 / 780億円 (走行時間短縮便益：617 / 617億円) (走行経費減少便益：124 / 124億円) (交通事故減少便益：39 / 39億円)
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築・・・地域高規格道路の位置づけあり ・個性ある地域の形成・・・観光地へのアクセス向上が期待される ・安全で安心できるくらしの確保・・・三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる			
他6項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 伊勢志摩地区連絡協議会などから、当該事業の早期完成を強く要望されています。			
事業評価監視委員会の意見 事業継続の妥当性が認められたことから事業の継続を了承する。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 志摩地域の救急医療の状況について、県立志摩病院の医師数の減少により救急体制が縮小され、志摩市内から伊勢市への救急搬送が増加しています。このことから救急車両の円滑な通行のため、当該事業への期待が高まっています。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 これまでに用地買収が完了し、工事も含めた進捗率は73%です。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収は完了しており、引き続き工事を進め、平成25年の式年遷宮に向けて、供用が図れるよう事業を推進します。			
施設の構造や工法の変更等 橋梁整備において、新工法の活用などによりコスト縮減を図っています。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 再評価において、審査の結果、事業の妥当性が確認された。			
事業概要図			



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。